

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	16161 天神池スポーツセンター管理運営事業				
基本政策	03 ころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち(教育・文化・スポーツ)				
政策	03 多彩な文化と生涯スポーツ活動の振興				
施策	02 地域スポーツ活動と交流の推進				
実施形態	全部委託				
事業期間	単年度	平成8年度～			
要求区分	継続	予算区分	標準		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名					
予算科目	01-100603-010100				
部名	09 教育委員会	課名	05 生涯学習課		
課長名	小林哲巳	T E L	22-5996	内線	

2. 対象・目的・内容

事業概要	公益社団法人西脇市文化・スポーツ振興財団への指定管理委託料であり、温水プール、体育館の管理運営である。
事業の対象 (誰・何を)	スポーツ活動等を行う人、行いたい人
事業の目的 (どういう状態にするために)	スポーツ、レクリエーション及び身体機能の維持増進の場所・機会を提供し、健全な心身の育成を図る。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	指定管理者制度による施設の管理運営を?西脇市文化・スポーツ振興財団に委託することにより、人的、経費的に合理的な管理運営を行う。 (水泳教室の開催、利用普及・啓発活動、体育館・温水プールの施設管理及び貸館業務)

3. 年度別事業費

(単位: 千円)

	事業費	支出先							
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成22年度決算額	20,722	0	0	0	0	5,026	10,740	4,956	
平成23年度決算額	21,952	0	0	0	0	4,721	10,740	6,491	
平成24年度決算額	22,870	0	0	0	0	4,847	10,500	7,523	
平成25年度予算額	23,111	0	0	0	0	4,625	10,740	7,746	

4. 総コストの概算

(単位: 千円)

平成24年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成24年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.01	0.00	0.01	78	22,870	22,948
事業費の主な用途		委託料			

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	開館日数				単位	日
	説明や数式	天神池スポーツセンターの年間開館日数					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標値	307	307	307	307		
	実績値	310	309				
	経費(千円)	22,948	22,948				
単位当たりのコスト	74.03	74.27					
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円)						
単位当たりのコスト							
成果 指標 ①	指標名	体育館利用人数				単位	人
	説明や数式	体育館の年間利用延べ人数					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標値	21,000	21,000	17,000	17,000		
	実績値	17,148	16,664				
	経費(千円)	22,948	22,948				
単位当たりのコスト	1.34	1.38					
成果 指標 ②	指標名	温水プール利用人数				単位	人
	説明や数式	温水プールの年間利用延べ人数					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標値	75,000	75,000	60,000	60,000		
	実績値	58,064	58,525				
	経費(千円)	22,948	22,948				
単位当たりのコスト	0.4	0.39					
実績・成果等の説明	活動指標については開館日数で毎週月曜日が休館日と年末年始の計で54日ほど休館となるので310日の開館となっている。成果指標については、過去の例により定めているが、見直しの必要があると考える。						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	3	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	3	市民ニーズの把握	5
	事業の総合評価	改善・見直し					
説明	文化・スポーツ振興財団への引き続き管理委託を考えている。その中で、利用者が減少傾向にあるため、増加に向けPRするとともに各教室の見直しや天神池スポーツセンターで何かイベントを考える必要があり、財団に対し、指導する。						
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	1
	事業の総合評価	改善・見直し					
説明	文化・スポーツ振興財団へ天神池スポーツセンターの指定管理を行っている事業であり、指定管理料の使途、事業内容等について把握を行い、市として説明責任を果たす必要がある。財団から市に対するプールの使用料収入について、算定根拠を明確にし、必要に応じて見直しを行うことも検討する必要がある。H20をピークとして、利用実績が減少傾向にあることから、その理由を分析した上で、利用者増加に向けた取組みとして、利用者の声を拾うこと、継続的な啓発活動を行うことなど、指定管理者に対する働きかけを行うべきである。						